

2000 年 IEEE Kansai Section

総会資料

2000 年 2 月 16 日

IEEE Kansai Section

2000 年 IEEE Kansai Section 総会

- 1 . 日時： 2000 年 2 月 16 日 (水) 午後 3 時 00 分 ~ 4 時 00 分
- 2 . 場所： 住友ビル 11 階 住友電工 112 号会議室
541-0041 大阪市中央区北浜 4-5-33
- 3 . 総会スケジュール
 - 1 . 支部長挨拶
 - 2 . 役員紹介
 - 3 . 1999 年事業報告
 - 4 . 2000 年事業計画および予算承認
 - 5 . 閉会の挨拶
 - 6 . Third Millennium Medal 伝達式
 - 7 . 関西支部新 Fellow ご紹介

Kansai Section Third Millennium Medal 受賞者

(アルファベット順、敬称略)

有本 卓	(立命館大学)
池田 博昌	(大阪大学)
熊谷 信昭	(大阪大学名誉教授)
中原 恒雄	(住友電気工業株式会社)
白川 功	(大阪大学)

Kansai Section 新 Fellow 氏名

(アルファベット順、敬称略)

長尾 真	(京都大学)
小澤 孝夫	(龍谷大学)
鳥居 宏次	(奈良先端科学技術大学院大学)
堤 誠	(京都工芸繊維大学)
吉川 恒夫	(京都大学)

I. 1999 年活動報告

1 . 設立総会

1999 年 7 月 27 日 (火) に住友ビル 12 階中会議室において、支部設立総会を実施した。

2 . 支部主催講演会

以下の支部主催講演会を実施した。

・支部主催講演会

日時：1999 年 7 月 27 日 (火) 16:00 ~ 17:00

場所：住友ビル 11 階中会議室

題目：Japan Council と Kansai Section の設立について

講演者：大阪大学名誉教授 熊谷信昭

・支部主催技術講演会

日時：1999 年 11 月 19 日 (金) 13:00 ~ 14:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：Structuring human-humanoid interaction so that people can intuitively command robots

講演者：MIT AI Lab. 所長 Rodney Brooks

3 . 役員会

第 1 回役員会 6 月 28 日 住友ビル 出席者：8 名

- ・新支部設立について ・今後の支部活動の事業計画
- ・今後の Committee の活動

第 2 回役員会 7 月 27 日 住友ビル 出席者：6 名

- ・設立総会について

第 3 回役員会 9 月 4 日 千里クラブ 出席者：5 名

- ・今後の Committee 活動 ・Fellow 推薦について

第 4 回役員会 10 月 27 日 住友ビル 出席者：6 名

- ・Section Congress'99 参加報告 ・技術講演会

第 5 回役員会 12 月 16 日 住友ビル 出席者：5 名

- ・Fellow 推薦 ・1999 年各 Committee 活動報告
- ・Technical Program Committee および Awards Committee 新設について
- ・2000 年総会スケジュール

4 . 各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

(1) 1999 年 12 月 3 日に 第 1 回 MDC meeting を開催し、以下の活動方針を決定した。

i) 会員数の増強

会員のメリットを宣伝することによって、若手研究者などに対しても、まず IEEE に加入するよう働きかける。また特定の Society のみに加入している Affiliate に対しても正会員となるように促す。

ii) Senior Member への upgrade を推進

候補者を洗い出し、関西支部からの upgrade の推薦を積極的に実施する。また、その対象者が upgrade 申請する際には、必要に応じて手続き上のサポートを行う。

iii) MDC の委員数を増強し、委員の属する各組織毎を中心にして、上記活動を展開する。

(2) 会員増や Senior Member への upgrade など、実際の効果が現れてくるのは、2000 年からと見込んでいる。

b. Nominations Committee

役員会において Fellow Nomination は Nominations Committee が担当することが決定された。これに伴い、関西支部の現 Fellow に対し新 Fellow の推薦を依頼し、関西支部から 8 名の推薦を行うことを決定した。

c. Student Activities Committee

現在、Student Branch が関西支部内に一つしかないという状況を改善するため、まず二つの Branch を新設するよう活動を開始した。学生会員になるための登録処理の具体的案内、学生会員のメリットなどを宣伝するためのホームページを作成するなど、現在 Branch 新設に向けての準備を進めている。

5 . 関西支部ホームページの開設

関西支部の会員に、IEEE 関西支部の活動内容、各種行事などの情報を提供することを目的として、7 月 22 日に関西支部ホームページを開設した。最初の 2 年間は大阪大学でサーバを管理し、URL を

<http://www2b.comm.eng.osaka-u.ac.jp/ieee-kansai>

とする。

II.1999 年会計報告

1. 収入の部 (単位：円)

IEEE Entity 間勘定	3,871,822	
・ Japan Council からの設立支援金	500,000	・ 3/19 に受領
・ Section Assessment (IEEE 本部より)	2,698,378	・ 9/6 に受領
・ Section Rebate (同上)	673,444	・ 9/27 に換金終了
利子	81	・ 8/16 普通預金利息
繰越金	0	
合計	3,871,903	

2. 支出の部 (単位：円)

IEEE Entity 間勘定	2,697,748	
・ Japan Council への拠出金	2,697,748	Section Assessment より振込 手数料(630)を差引いて送付
会合費	372,968	
・ 総会費	86,198	会場費、資料代、看板など
・ 講演会	30,000	謝金
・ 役員会費	96,390	5 回開催
・ Committee 会合費	160,380	MDC 会合(12/3)
事務経費	58,355	
・ 通信費	9,685	
・ 事務用品費	3,960	
・ 旅費	44,710	Section Congress 支部負担金
雑費	2,100	Rebate 換金手数料
繰越金	740,732	
合計	3,871,903	

III. 関西支部会員数

1. グレード別会員数

1999.11.30 現在

グレード	Grade Code	会員数
Honorary Member	HM	1
Life Fellow	LF	15
Fellow	F	33
Life Senior Member	LS	8
Senior Member	SM	87
Life Member	LM	22
Member	M	1049
Pending Member	PM	26
Life Associate	LA	1
Associate	A	119
Student	S	112
Total		1472

2. ソサイエティ別会員数

1999.11.30 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	127
Broadcast Technology	BT-02	16
Antennas and Propagation	AP-03	66
Circuits and Systems	CAS-04	155
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	16
Vehicular Technology	VT-06	45
Reliability	R-07	19
Consumer Electronics	CE-08	38
Instrumentation and Measurement	IM-09	27
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	16
Information Technology	IT-12	61
Industrial Electronics	IE-13	47
Engineering Management	EM-14	13
Electron Devices	ED-15	172
Computer	C-16	589
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	136
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	53
Communications	COM-19	233
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	34
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	36
Oceanic Engineering	OE-22	15

Control Systems	CS-23	118
Robotics and Automation	RA-24	81
Education	E-25	20
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	31
System, Man and Cybernetics	SMC-28	99
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	14
Social Implications of Technology	SIT-30	7
Power Engineering	PE-31	75
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	21
Magnetics	MAG-33	45
Industry Applications	IA-34	49
Power Electronics	PEL-35	45
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	102
Solid-State Circuits	SSC-37	117

III. 1999/2000 年 IEEE Kansai Section 役員

1. Section Officers

Chair: 中原 恒雄 (住友電気工業)
Vice Chair: 池田 博昌 (大阪大学)
Secretary/Treasurer: 山本 幹 (大阪大学)

2. Committee Officers

a. Membership Development Committee

Chair: 小山 正樹 (奈良先端科学技術大学院大学)
Member: 上原 明 (住友電気工業)
神戸 尚志 (シャープ)
北本 浩之 (関西電力)
瀬恒 謙太郎 (松下電器産業)
武田 捷一 (三菱電機)
武田 洋次 (大阪府立大学)
田中 初一 (神戸大学)
中村 進 (オムロン)
名古屋 彰 (日本電信電話)
橋本 正弘 (大阪電気通信大学)
東田 正信 (国際電気通信基礎技術研究所)
藤原 値賀人 (大阪市立大学)
松岡 継文 (三洋電機)
山本 裕 (京都大学)

b. Nominations Committee

Chair: 白川 功 (大阪大学)
Member: 大西 良一 (三菱電機)
奥村 浩士 (京都大学)
河田 亨 (シャープ)
櫛木 好明 (松下電器産業)
菅原 良孝 (関西電力)
羽根田博正 (神戸大学)
吉田 健一 (住友電気工業)

c. Student Activities Committee

Chair: 中村 行宏 (京都大学)
Member: 小野寺秀俊 (京都大学)
瀧 和男 (神戸大学)
松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学)
村田 正幸 (大阪大学)
柳田 益造 (同志社大学)
山内 寛紀 (立命館大学)

d. Technical Program Committee

Chair: 中津 良平 (ATR 知能映像通信研究所)
Vice Chair: 北村 喜文 (大阪大学)
Secretary: 間瀬 健二 (ATR 知能映像通信研究所)

e. Awards Committee

Chair: 羽根田博正 (神戸大学)
井上克巳 (神戸大学)
黒江康明 (京都工芸繊維大学)
松山隆司 (京都大学)
宮原秀夫 (大阪大学)
山崎宏之 (三菱電機)
吉田健一 (住友電気工業)

IV 2000 年 IEEE Kansai Section 事業計画

1 . 総会

2000 年 2 月 16 日 (水) 15:00 ~ 16:00 の予定で、2000 年定例総会を実施する。なお、今後この時期に年 1 回の定例総会を開催する。

2 . 支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、年 4 回程度の講演会を実施する。なお、すでに 1 月に以下の講演会を実施した。

・ 関西支部主催第 2 回技術講演会

日時：2000 年 1 月 14 日(金) 13:00 ~ 14:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大会議室

題目：From bits to information: machine learning theory and applications

講演者：MIT AI Lab. Tomaso Poggio

3 . 役員会

第 1 回役員会 1 月 24 日 住友ビル

・ 2000 年総会 ・ 2000 年事業計画

・ 2000 年各 Committee の事業計画

第 2 回役員会 2 月 16 日 住友ビル

・ 2000 年総会について

2000 年中に、さらに数回の役員会を開催する予定である。

3 . 関西支部 Award の新設

関西支部独自の Award を新設する。

4 . 新 Committee 設立

今後技術講演会を定期的に関西支部で開催するにあたり、講演会の企画立案を担当する Technical Program Committee を新設する。

また、関西支部独自の Award の企画を担当する、Awards Committee を新設する。

5 . 各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

1999 年の方針を引き継ぎ、以下の活動を進める。

(1) 会員数の増強

Kansai Section 設立時に挙げている 2 年間で会員数 1420 名から 2000 名という目標に沿って、2000 年末における到達点を設定し、SAC とも協力の上、それに向けた施策を展開する。

(2) Senior Member への upgrade を推進

Kansai Section 推薦による upgrade を積極的に進めるとともに、その際のサポート体制等の充実を図る。

b. Nominations Committee

(1) 各種 Nomination 活動

昨年度と同様に、定常的な Nomination の活動を行なう。

(2) Fellow Nomination

1999 年と同様の手順で実行の予定。

(3) Membership Development Committee と協調して、関西支部における Senior Member の拡大を図る。

c. Student Activities Committee

(1) Student Branch の設立

1999 年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。1999 年より新設準備を進めている 2 Branch については、3 月末設立を目標とする。更に、新たな二つの Student Branch 設立を図る。なお、勧誘推進の一環としてホームページの充実を図る。

(2) 学生を対象としたイベント企画

学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。

d. Technical Program Committee

講演会の開催を主たる活動とする。講演会の開催を主たる活動とする。開催は年 3、4 回程度を基準とする。2000 年の開催予定（実施済含む）は以下の通り。

2000 年 1 月 14 日 講演者 Tomaso Poggio 教授（MIT）

2000 年 3 月 3 日 J. L. Flanagan 教授（ラトガース大副学長）

2000 年 5,6 月頃 （予定）

2000 年 9,10 月頃 （予定）

e. Awards Committee

初年度なので新しい賞の設置・運営に関する企画を短期・中長期的視点より行う。今年度はとりわけ学生会員や GOLD 会員(Graduates of the Last Decade)など若手会員に焦点を当ててその具体化を進める。

V 2000 年 IEEE Kansai Section 予算

収入の部

IEEE Entity 間勘定	3,321,180	
・ Section Rebate	621,180	・ (補足)の計算式で、現状の 会員数 1472、105 円/\$で計算 ・ 1999 年実績で計算
・ Section Assessment	2,700,000	
繰越金	740,732	
合計	4,061,912	

(補足)

Rebate 内訳 $\$1,500 + \$3 \times (\text{会員数})$

- ・ \$1,500 は各 section 一律配分
- ・ 会員数のカウントには全 grade の会員が相当

支出の部

IEEE Entity 間勘定	2,700,000	Japan Council 拠出金
会合費	650,000	
・ 総会費	100,000	会場費、資料代など 会場費、謝金など
・ 講演会	100,000	
・ 役員会費	150,000	
・ Committee 会合費	300,000	
事務経費	70,000	
・ 通信費	10,000	
・ 事務用品費	10,000	
・ 旅費	50,000	
雑費	641,912	円ドル換金レート変動吸収 分を含む
合計	4,061,912	

VI. 関西支部 Bylaws

IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board (RAB) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

ARTICLE I --- Name and Territory

Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

(The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.)

ARTICLE II --- Officers

Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

ARTICLE III --- Standing Committee

Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee
- Awards Committee

Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.

Section 3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

Section 4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

ARTICLE IV --- Management

Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

- Standing Committee Chairs
- representatives of Chapters,
- such other members appointed by the Section Executive Committee,
- and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

ARTICLE VI --- Business Meeting

Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3members must be present to constitute a quorum.

ARTICLE VII --- Finances

Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

ARTICLE VIII --- Amendments

Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.